



Cisco Unity Connection 1.x システム要件およびサポートされる ハードウェアとソフトウェア

Published November 11, 2005

このドキュメントでは、Cisco Unity Connection バージョン 1.x システムをインストールするにあたっての要件、サポートされているハードウェアとソフトウェア、およびその他の必要な情報を示します。このドキュメントは、次の3つのパートで構成されています。

- [パート 1 : Cisco Unity Connection 1.x システム要件 \(P.2\)](#)
- [パート 2 : Cisco Unity Connection 1.x でサポートされているハードウェア \(P.12\)](#)
- [パート 3 : Cisco Unity Connection 1.x でサポートされるソフトウェア \(P.15\)](#)



(注)

PBX-IP メディア ゲートウェイ ユニットは、日本ではサポートの対象外です。

パート 1 : Cisco Unity Connection 1.x システム要件

- [コンフィギュレーション \(P.3\)](#)
- [ハードウェア要件 \(P.3\)](#)
- [ソフトウェア要件 \(P.4\)](#)
- [COS 制御機能の要件 \(P.8\)](#)
- [Windows ドメイン要件 \(P.9\)](#)
- [Exchange の予定表と連絡先にアクセスする場合および TTS を使用して Exchange の電子メールにアクセスする場合の要件 \(P.10\)](#)
- [Cisco Unity 4.0\(5\) 以降から Cisco Unity Connection への移行の要件 \(P.11\)](#)
- [セキュリティ上の推奨事項 \(P.11\)](#)
- [パート 2 : Cisco Unity Connection 1.x でサポートされているハードウェア \(P.12\)](#)
- [パート 3 : Cisco Unity Connection 1.x でサポートされるソフトウェア \(P.15\)](#)

コンフィギュレーション

- ディレクトリ情報およびボイス メッセージは、Cisco Unity Connection に格納されます。
- Cisco Unity Connection サーバはボイス メッセージのみ処理します。
- Cisco Unity Connection サーバは、電話システムと同じネットワークに接続されている必要があります (サポートされているすべての電話システム連動は、ネットワークを介して Connection と通信します。ボイス カードはサポートされていません)。
- ユーザは、Cisco Unity Connection でのカンパセーション (電話ユーザ インターフェイス) または Cisco Unity Inbox を使用してボイス メッセージを送信できます。
- ユーザは、Cisco Unity Connection でのカンパセーション、Cisco Unity Inbox、またはサポートされている IMAP 電子メール クライアントを使用してボイス メッセージを聞くことができます。
- 音声認識ソフトウェアは、デフォルトで Cisco Unity Connection サーバにインストールされます。音声認識機能を使用するには、Cisco Unity Connection ライセンスにアドバンス ボイスメール ユーザが含まれている必要があります。別個のサーバに音声認識ソフトウェアをインストールして、音声認識機能で別個のサーバを使用するように Connection を設定することもできます。
- G.711 Mu-Law および G.729a コーデック形式で録音される Cisco Unity Connection プロンプト セットは、自動的にインストールされます。G.711 Mu-Law プロンプト セットは、デフォルトで有効です (録音でサポートされているオプションのオーディオ形式については、P.16 の「サポートされるオーディオ形式」を参照してください)。



注意

Connection 音声認識機能で使用するには、G.711 Mu-Law オーディオ形式が必要です。Cisco Unity Connection サーバまたは電話システムが G.729a を使用している場合、または既存のメッセージ、グリッピング、および名前が G.711 Mu-Law 以外のオーディオ形式で録音された場合、音声認識は動作しません。

ハードウェア要件

- Cisco Unity Connection の仕様を満たすサーバ。
http://www.cisco.com/en/US/products/ps6509/products_data_sheets_list.html にある『Cisco Unity Connection Supported Platforms List』を参照してください。



注意

サポートされていないプラットフォームでソフトウェアをインストールしようとすると、Cisco Unity Connection の設定は失敗します。

- Cisco Unity および Cisco Unity Connection の両方で適合性が確認されている、特定の旧型のサーバの場合、追加のメモリ モジュール (RAM)。
http://www.cisco.com/en/US/products/ps6509/products_data_sheets_list.html にある『Cisco Unity Connection Supported Platforms List』を参照してください。

ソフトウェア要件

- [ソフトウェア要件：Cisco Unity Connection サーバ \(P.4\)](#)
- [ソフトウェア要件：オプションの音声認識サーバ \(P.5\)](#)
- [ソフトウェア要件：管理者ワークステーション \(P.6\)](#)
- [ソフトウェア要件：ユーザワークステーション \(P.7\)](#)

ソフトウェア要件：Cisco Unity Connection サーバ

Microsoft Windows Server 2003 Standard Edition Service Pack 1 は、製造時に Cisco Unity Connection サーバにインストールされます(シスコからサーバをご購入された場合)。または、Cisco プラットフォーム コンフィギュレーション ディスクを使用してインストールされます (別のベンダーからサーバをご購入された場合)。



注意

それ以外の方法で Windows Server 2003 をインストールすると、Cisco Unity Connection の設定は失敗します。

Cisco Unity Connection ソフトウェアおよび必要性が最も高いサードパーティ ソフトウェアは、Cisco Unity Connection の設定によりインストールされます。また、次のソフトウェアが必要です。

- サポートされている次のブラウザのいずれか。
 - Microsoft Internet Explorer 6.0 Service Pack 1 (Windows Server 2003 で自動的にインストールされます)
 - Firefox 1.04 以降

別のコンピュータから Cisco Unity Connection システムを管理する場合のブラウザ要件については、[P.6 の「ソフトウェア要件：管理者ワークステーション」](#)を参照してください。

- Cisco Unity Connection を Cisco CallManager または Cisco CallManager Express と連動させる場合、互換性のある最新バージョンの Cisco Unity-CM TSP。サポートされているバージョンの組み合わせについては、『[互換性マトリクス：Cisco Unity Connection、Cisco Unity-CM TSP、Cisco CallManager、Cisco CallManager Express](#)』を参照してください。
- Cisco TAC のサポートを受けるために必要な、次のいずれかのリモートアクセス アプリケーション
 - Microsoft リモート デスクトップ。リモート デスクトップは自動的にインストールされませんが、Cisco プラットフォーム コンフィギュレーション ディスクでは有効になっていません。
 - VNC クライアント。一般的に、リモート デスクトップはより高速で、メモリおよび他のシステム リソースの使用量が少ないため、VNC クライアントよりリモート デスクトップを使用することをお勧めします。
- Connection 音声認識機能を使用する場合、Connection サーバおよび電話システムでは G.711 Mu-Law オーディオ形式が必要です。

G.711 Mu-Law および G.729a プロンプト セットは自動的にインストールされます。G.711 プロンプト セットはデフォルトで有効になっており、音声認識が必要です。



注意

Cisco Unity Connection サーバまたは電話システムが G.729a を使用している場合、または既存のメッセージ、グリーティング、および名前が G.711 Mu-Law 以外のオーディオ形式で録音された場合、音声認識は動作しません。

必要な最小サービスパック : Cisco Unity Connection サーバ

表 1 は、Cisco Unity Connection の設定で、Connection サーバに必要なサービス パックを示しています。

表 1 Cisco Unity Connection サーバに必要な最小サービス パック

Cisco Unity Connection のバージョン	Connection 設定によりインストールまたは強制される必要なサービス パック
1.1(1)	Microsoft SQL Server 2000 SP3a、MSDE 2000 SP 3a、Windows Server 2003 SP 1

Connection サーバをシスコからご購入された場合、Microsoft Windows Server 2003 は、Windows Server 2003 Service Pack 1 および Internet Explorer 6.0 Service Pack 1 とともに製造時にインストールされます。Connection サーバを別のベンダーからご購入された場合、サービス パックは、Cisco プラットフォーム コンフィギュレーション ディスクを使用して Windows Server 2003 をインストールするときに自動的にインストールされます。

Cisco Unity Connection をインストールすると、設定により、SQL Server 2000 または MSDE 2000 (ご購入されたボイス ポートの数によって異なります) および対応する Service Pack 3a が自動的にインストールされます。

ソフトウェア要件 : オプションの音声認識サーバ

Microsoft Windows Server 2003 Standard Edition Service Pack 1 は、製造時に音声認識サーバにインストールされます (シスコからサーバをご購入された場合)。または、Cisco プラットフォーム コンフィギュレーション ディスクを使用してインストールされます (別のベンダーからサーバをご購入された場合)。



注意

それ以外の方法で Windows Server 2003 をインストールすると、Cisco Unity Connection の設定は失敗します。

Cisco Unity Connection 音声認識ソフトウェアおよび必要性が最も高いサードパーティ ソフトウェアは、Cisco Unity Connection の設定によりインストールされます。また、次のソフトウェアが必要です。

- Cisco TAC のサポートを受けるために必要な、次のいずれかのリモートアクセス アプリケーション
 - Microsoft リモート デスクトップ。リモート デスクトップは自動的にインストールされませんが、Cisco プラットフォーム コンフィギュレーション ディスクでは有効になっていません。
 - VNC クライアント。一般的に、リモート デスクトップはより高速で、メモリおよび他のシステム リソースの使用量が少ないため、VNC クライアントよりリモート デスクトップを使用することをお勧めします。
- 音声認識サーバおよび電話システムでは、G.711 Mu-Law オーディオ形式が必要です。G.711 Mu-Law および G.729a プロンプト セットは自動的にインストールされます。G.711 プロンプト セットはデフォルトで有効になっており、音声認識で必要です。



注意

音声認識サーバまたは電話システムが G.729a を使用している場合、または既存のメッセージ、グリーティング、および名前が G.711 Mu-Law 以外のオーディオ形式で録音された場合、音声認識は動作しません。

必要な最小サービスパック：オプションの音声認識サーバ

表 2 は、Cisco Unity Connection の設定で、音声認識サーバに必要なサービスパックを示しています。

表 2 オプションの音声認識サーバに必要な最小サービスパック

Cisco Unity Connection のバージョン	Connection 設定により強制される必要なサービスパック
1.1(1)	Windows Server 2003 SP 1

音声認識サーバをシスコからご購入された場合、Microsoft Windows Server 2003 は、Windows Server 2003 Service Pack 1 および Internet Explorer 6.0 Service Pack 1 とともに製造時にインストールされます。音声認識サーバを別のベンダーからご購入された場合、サービスパックは、Cisco プラットフォームコンフィギュレーションディスクを使用して Windows Server 2003 をインストールするときに自動的にインストールされます。

ソフトウェア要件：管理者ワークステーション

- Connection サーバ以外のコンピュータから Cisco Unity Connection Administration および Cisco Personal Communications Assistant にアクセスする場合、オペレーティングシステムおよびインターネットブラウザには、インストールする Connection のバージョンとの互換性が必要です。表 3 は、サポートされているオペレーティングシステムとブラウザの組み合わせを示しています。

表 3 管理者ワークステーションでサポートされているオペレーティングシステムおよびブラウザ

Cisco Unity Connection	管理者ワークステーションのオペレーティングシステム	管理者ワークステーションのブラウザ
1.1(1)	<ul style="list-style-type: none"> • Windows Server 2003 Service Pack 1 • Windows XP • Windows 2000 	<ul style="list-style-type: none"> • Internet Explorer 6.0 Service Pack 1 • Firefox 1.04 以降

- Java 2 Platform Standard Edition (J2SE) Runtime Environment 5.0 Update 2 (1.5.0_02) 以降
管理者ワークステーションでのブラウザの設定方法は、『Cisco Unity Connection アドミニストレーション コール マネジメント ガイド』に記載されています。

ソフトウェア要件：ユーザワークステーション

- ユーザが Cisco Personal Communications Assistant にアクセスできるようにするには、ユーザワークステーションのオペレーティングシステムおよびインターネットブラウザに、インストールする Connection のバージョンとの互換性が必要です。サポートされているバージョンの組み合わせについては、『*互換性マトリクス：Cisco Unity Connection とユーザワークステーション上のソフトウェア*』を参照してください。
- 表 4 は、適切なブラウザ コンフィギュレーションで必要なソフトウェアを示しています。これは、ユーザワークステーションにインストールされているブラウザによって異なります。ユーザワークステーションでのブラウザの設定方法は、『*Cisco Unity Connection ユーザセットアップガイド*』および『*Cisco Unity Connection ユーザガイド*』に記載されています。

表 4 ユーザワークステーションでの適切なブラウザ コンフィギュレーションで必要なソフトウェア

ブラウザ	必要なソフトウェア
Apple Safari	Java 2 Platform Standard Edition (J2SE) Runtime Environment 5.0 Release 1 以降
Firefox	次のソフトウェア。オペレーティングシステムによって異なります。 <ul style="list-style-type: none"> • Apple Mac OS の場合： <ul style="list-style-type: none"> - Java 2 Platform Standard Edition (J2SE) Runtime Environment 5.0 Release 1 以降 - Java Embedding Plugin for Mac OS X バージョン 0.9.3 以降 • Linux Red Hat の場合： <ul style="list-style-type: none"> - ALSA ドライババージョン 1.0.9 以降 - Java 2 Platform Standard Edition (J2SE) Runtime Environment 5.0 Update 2 (1.5.0_02) 以降 • Microsoft Windows の場合、Java 2 Platform Standard Edition (J2SE) Runtime Environment 5.0 Update 2 (1.5.0_02) 以降
Microsoft Internet Explorer	Java 2 Platform Standard Edition (J2SE) Runtime Environment 5.0 Update 2 (1.5.0_02) 以降

- IMAP 電子メールクライアントを使用して Cisco Unity Connection ボイスメッセージにアクセスする場合、電子メールクライアントには、インストールする Connection のバージョンとの互換性が必要です。サポートされているクライアントとバージョンの組み合わせについては、『*互換性マトリクス：Cisco Unity Connection とユーザワークステーション上のソフトウェア*』を参照してください。

COS 制御機能の要件

表 5 は、サービス クラス (COS) で制御される Cisco Unity Connection 機能の要件を示しています。

表 5 COS 制御の Cisco Unity Connection 機能の要件

機能	要件	考慮事項
テキスト / スピーチ (TTS) を使用した Microsoft Exchange 電子メールへのアクセス	<ul style="list-style-type: none"> ボイスメール ユーザ ライセンスおよびアドバンス ボイスメール ユーザ ライセンス サポートされている Exchange Server 2003 または Exchange 2000 Server のエディション サポートされている Windows ドメイン コンフィギュレーション内の Exchange サーバ <p>P.10 の「Exchange の予定表と連絡先にアクセスする場合および TTS を使用して Exchange の電子メールにアクセスする場合の要件」を参照してください。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ユーザは、電子メールを TTS で読み取るのに有効な COS に属している必要があります。 ユーザが実行できるのは、電子メールの取得、保存、および削除だけです。電子メールの返信または転送は行えません。 ユーザは電話を使用して電子メールを削除できますが、クライアントによっては、引き続きクライアントの Inbox に電子メールが表示される場合があります。
Cisco Unity Inbox	ボイスメール ユーザ ライセンスおよび Inbox ユーザ ライセンス	ユーザは、Cisco Unity Inbox の使用が有効な COS に属している必要があります。
Cisco Unity パーソナル着信転送ルール	<ul style="list-style-type: none"> ボイスメール ユーザ ライセンス Cisco CallManager または Cisco CallManager Express 電話システムと連動する Cisco Unity Connection 	ユーザは、Cisco Unity パーソナル着信転送ルールの使用が有効な COS に属している必要があります。
Microsoft Exchange との連絡先および予定表の連動	<ul style="list-style-type: none"> ボイスメール ユーザ ライセンス サポートされている Exchange Server 2003 または Exchange 2000 Server のエディション サポートされている Microsoft Windows ドメイン コンフィギュレーション内の Exchange サーバ <p>P.10 の「Exchange の予定表と連絡先にアクセスする場合および TTS を使用して Exchange の電子メールにアクセスする場合の要件」を参照してください。</p>	ユーザは、Microsoft Exchange の使用が有効な COS に属している必要があります。

表 5 COS 制御の Cisco Unity Connection 機能の要件 (続き)

機能	要件	考慮事項
Cisco Unity Connection ボイス メッセージへの IMAP クライアント アクセス	<ul style="list-style-type: none"> ボイスメール ユーザ ライセンスおよび IMAP ユーザ ライセンス ユーザ ワークステーション上のサウンドカード、スピーカ、およびメディア プレーヤー サポートされている IMAP クライアント。 『互換性マトリクス: Cisco Unity Connection とユーザ ワークステーション上のソフトウェア』を参照してください。 	<ul style="list-style-type: none"> ユーザは、IMAP クライアントを使用したボイス メッセージへのアクセスで有効な COS に属している必要があります。 ボイス メッセージは、WAV 添付ファイルが添付された電子メールです。 ユーザが実行できるのは、ボイス メッセージの取得、保存、および削除だけです。ボイス メッセージの返信または転送は行えません。 ユーザは、IMAP クライアントを使用してプライバシーの保障されたボイス メッセージを再生することはできません。 クライアントによって、ユーザは、[削除したメッセージ] フォルダを定期的に空にして、ボイス メッセージを完全に削除する必要があります。
音声認識機能	<ul style="list-style-type: none"> ボイスメール ユーザ ライセンスおよびアドバンス ボイスメール ユーザ ライセンス Cisco Unity Connection サーバおよび電話システムでの G.711 Mu-Law オーディオ形式 Connection サーバで有効な G.711 Mu-Law プロンプト セット 	<ul style="list-style-type: none"> ユーザは、音声認識の使用が有効な COS に属している必要があります。 G.729a オーディオ形式はサポートされていません。

Windows ドメイン要件

Cisco Unity Connection サーバは、ワークグループ サーバである必要があります。オプションの音声認識サーバをインストールする場合、そのサーバもワークグループ サーバである必要があります。

Exchange の予定表と連絡先にアクセスする場合および TTS を使用して Exchange の電子メールにアクセスする場合の要件

Cisco Unity Connection を使用すると、ユーザは、Microsoft Exchange の予定表および連絡先データに基づいてパーソナル着信転送ルールを作成できます。また、Connection を使用すると、ユーザはテキスト / スピーチ (TTS) を使用して Exchange の電子メールを聞くことができます。

次の 2 つの項では、サポートされている Exchange バージョン、および Exchange および Windows ドメインの要件を示します。

サポートされている Exchange のバージョン

次のバージョンの Exchange がサポートされています。

- Exchange Server 2003 Enterprise Edition Service Pack 1 以降 (アメリカ英語のみ)
- Exchange Server 2003 Standard Edition Service Pack 1 以降 (アメリカ英語のみ)
- Exchange 2000 Server Enterprise Edition Service Pack 3 以降 (アメリカ英語のみ)
- Exchange 2000 Server Standard Edition Service Pack 3 以降 (アメリカ英語のみ)

Exchange および Windows ドメイン コンフィギュレーションの要件

ユーザがパーソナル着信転送ルールで Exchange データを使用したり、TTS を使用して Exchange 電子メールを聞いたりできるようにするには、Exchange サーバが、サポートされている Windows ドメイン コンフィギュレーションに含まれている必要があります。

表 6 サポートされている Exchange および Windows ドメイン コンフィギュレーション

Exchange コンフィギュレーション	サポートされている Windows ドメイン コンフィギュレーション
Exchange Server 2003 を実行する 1 台のサーバ	<ul style="list-style-type: none"> • Exchange サーバは、Windows Server 2003 ドメイン コントローラ / グローバル カタログ サーバです。 • Exchange サーバは、Windows Server 2003 メンバ サーバです。 • Exchange サーバは、Windows Server 2003 ドメイン内の Windows 2000 Server メンバ サーバです。
Exchange 2000 Server を実行する 1 台のサーバ	<ul style="list-style-type: none"> • Exchange サーバは、Windows 2000 Server ドメイン コントローラ / グローバル カタログ サーバです。 • Exchange サーバは、Windows 2000 Server メンバ サーバです。
Exchange Server 2003、 Exchange 2000 Server、または 任意の組み合わせを実行する 2 ~ 5 台のサーバ	Exchange サーバは、ドメイン コントローラ / グローバル カタログ サーバであり、場合によっては、単一ドメインまたは複数のプライマリ / 子ドメインのメンバ サーバでもあります。

Cisco Unity 4.0(5) 以降から Cisco Unity Connection への移行の要件

- Cisco Unity Connection システムのすべての要件。



注意

Cisco Unity Connection の要件は、Cisco Unity 4.x の要件とは異なります。Cisco TAC のサポートを受けるには、システムが Cisco Unity Connection の基準を満たしている必要があります。

- Cisco Unity システム バージョン 4.0(5) 以降。その他のバージョンからのアップグレードはサポートされません (使用している Cisco Unity システムが以前のバージョンである場合、データをエクスポートする前に、バージョン 4.0(5) 以降にアップグレードする必要があります)。
- ネットワーク接続または大容量リムーバブル ストレージ デバイス。これを使用すると、既存の Cisco Unity 4.0(5) 以降のシステムからエクスポートしたユーザおよびその他の情報を保存して、Cisco Unity Connection システムにインポートできます。
- サーバを再利用する場合は、Windows Server 2003 のフレッシュ インストール。Cisco プラットフォーム コンフィギュレーション ディスクを使用します。それ以外の方法で Windows Server 2003 をインストールすることは、サポートされていません。
- サポートされているサーバは、『Cisco Unity Connection Supported Platforms List』に記載されているサーバだけです。このリストは、
http://www.cisco.com/en/US/products/ps6509/products_data_sheets_list.html で参照できます。
- メモリ アップグレード。Cisco Unity 4.x でサポートされている、特定のサーバで必要です。サーバでメモリ アップグレードが必要な場合、情報については、
http://www.cisco.com/en/US/products/ps6509/products_data_sheets_list.html にある『Cisco Unity Connection Supported Platforms List』を参照してください。

回線交換電話システムとの連動では、ボイス カードはサポートされていません。

セキュリティ上の推奨事項

Cisco Unity Connection サーバにインストールされた Microsoft アプリケーション用のセキュリティアップデートが、マイクロソフトから毎月リリースされます。シスコでは、毎月最新のアップデートを Cisco Unity Connection Server Updates ウィザードに追加し、ウィザードを Cisco.com に再公表します。マイクロソフトからリリースされる最新のアップデートをインストールするか、最新バージョンの Server Updates ウィザードをダウンロードおよび実行してそれらのアップデートをインストールすることをお勧めします。Server Updates ウィザードによりインストールされるアップデートについては、『Cisco Unity Connection Server Updates ウィザードでインストールされるソフトウェア』を参照してください。

パート 2 : Cisco Unity Connection 1.x でサポートされているハードウェア

- [サポートされる電話システム連動 \(P.13\)](#)
- [サポートされるハードウェア \(オプション\)\(P.14\)](#)
- [パート 1 : Cisco Unity Connection 1.x システム要件 \(P.2\)](#)
- [パート 3 : Cisco Unity Connection 1.x でサポートされるソフトウェア \(P.15\)](#)

サポートされる電話システム連動

Cisco Unity Connection は、適合性が確認された IP 電話システム（「サポートされる IP 電話システム連動」の項を参照）および適合性が確認された回線交換電話システム（「サポートされる回線交換電話システム連動」の項を参照）と連動します。Connection は、複数の電話システムとの同時の連動（http://www.cisco.com/en/US/products/ps6509/products_installation_and_configuration_guides_list.html）にある『*Multiple Phone System Integration Guide for Cisco Unity Connection 1.1*』を参照）もサポートします。

サポートされる IP 電話システム連動

- Cisco CallManager
- Cisco CallManager Express
- Cisco SIP Proxy Server

また、Cisco CallManager の Cisco Unity Connection との連動では、リモート サイトで Cisco IOS プラットフォームにインストールされた Survivable Remote Site Telephony (SRST) をサポートします。

サポートされる Cisco CallManager および Cisco CallManager Express のバージョンについては、『*互換性マトリクス : Cisco Unity Connection, Cisco Unity-CM TSP, Cisco CallManager, Cisco CallManager Express*』を参照してください。

サポートされる回線交換電話システム連動

表 7 サポートされる回線交換電話システム連動

電話システム	連動タイプ	サポートされる PIMG ユニット	その他の必須コンポーネント ¹
Avaya Definity G3	デジタル	デジタル PIMG ユニット	<ul style="list-style-type: none"> • デジタル ケーブル • LAN 接続
Avaya Definity ProLogix	デジタル	デジタル PIMG ユニット	<ul style="list-style-type: none"> • デジタル ケーブル • LAN 接続
Nortel Meridian 1	デジタル	デジタル PIMG ユニット	<ul style="list-style-type: none"> • デジタル ケーブル • LAN 接続
QSIG または DPNSS 電話システム	IP	N/A	<ul style="list-style-type: none"> • Cisco EGW 2200 • LAN 接続
Siemens Hicom 300 シリーズ E CS	デジタル	デジタル PIMG ユニット	<ul style="list-style-type: none"> • デジタル ケーブル • LAN 接続

1. これらのコンポーネントの推奨事項および詳細については、http://www.cisco.com/en/US/products/ps6509/products_installation_and_configuration_guides_list.html にある適切な『*Cisco Unity Connection Integration Guide*』を参照してください。



(注) 日本ではサポートの対象外です。

サポートされるハードウェア (オプション)

Cisco Unity Connection では次のオプションのハードウェアがサポートされています。

- システムのバックアップ用のテープドライブ。
- Cisco Unity Connection サーバにはテープ オートローダも接続できますが、大容量のバックアップや復元に使用する場合は、専用のバックアップサーバへのネットワークによるバックアップを推奨します。
- シリアルケーブルで Cisco Unity Connection に接続された無停電電源装置 (UPS)。

次のアウトオブバンド管理カードが Cisco Unity Connection でサポートされています。

- Hewlett-Packard Remote Insight Lights-Out Edition のすべてのバージョン
- IBM Remote Supervisor Adapter のすべてのバージョン

また、Cisco Unity Connection サーバをリモートで再起動するため、管理カードとの使用がサポートされているソフトウェアについては、P.19 の「[サポートされるその他のソフトウェア](#)」を参照してください。

パート 3 : Cisco Unity Connection 1.x でサポートされるソフトウェア

- [互換性に関する情報 \(P.15\)](#)
- [サポートされるアンチウイルス ソフトウェア \(P.16\)](#)
- [サポートされるオーディオ形式 \(P.16\)](#)
- [サポートされるモニタリングソフトウェア \(P.17\)](#)
- [バックアップソフトウェアについてのサポート ポリシー \(P.18\)](#)
- [Microsoft サービス パックおよびアップデートについてのサポート ポリシー \(P.18\)](#)
- [サポートされるその他のソフトウェア \(P.19\)](#)
- [パート 1 : Cisco Unity Connection 1.x システム要件 \(P.2\)](#)
- [パート 2 : Cisco Unity Connection 1.x でサポートされているハードウェア \(P.12\)](#)

互換性に関する情報

互換性に関する情報については、Cisco.com にある次のドキュメントを参照してください。

- 『[互換性マトリクス : Cisco Unity Connection とユーザワークステーション上のソフトウェア](#)』
- 『[互換性マトリクス : Cisco Unity Connection、Cisco Unity-CM TSP、Cisco CallManager、Cisco CallManager Express](#)』

サポートされるアンチウイルス ソフトウェア

次のアンチウイルス ソフトウェアは、シスコによって Cisco Unity Connection 1.x との適合性が確認されています。

- Computer Associates eTrust Antivirus バージョン 7.0 以降
- McAfee VirusScan Enterprise 8.0i
- Symantec AntiVirus Corporate Edition バージョン 9.0 以降
- Trend Micro Server Protect for Microsoft Windows バージョン 5.56 以降

アンチウイルス ソフトウェアについてのサポート ポリシー

シスコのサポート ポリシーは、お客様による Cisco Unity Connection サーバへのサードパーティ製アンチウイルス ソフトウェアの配置を認めています。ただし、シスコでは、お客様（またはお客様のシステム統合パートナー）がこうした製品を配置する前に、Cisco Unity Connection との相互運用性を十分にテストして、Connection と Connection サーバにロードされたサードパーティ製品との問題が実稼動環境で発見されるリスクを最小限に抑えることを推奨します。

問題が発生してお客様が Cisco TAC に連絡した場合、Cisco TAC エンジニアは、トラブルシューティングの過程で、こうしたサードパーティ製ソフトウェアの無効化や Cisco Unity Connection サーバからの削除を求める場合があります。サードパーティ製ソフトウェアと Cisco Unity Connection との相互運用性が問題の直接的な原因であることが判明した場合は、Connection システムの機能性を継続してご利用いただくために、相互運用性の問題が解決するまで、サードパーティ製ソフトウェアの無効化または Cisco Unity Connection サーバからの削除が必要となります。

認定済みの Microsoft サービス パックを Cisco Unity Connection サーバにインストールする場合は、Connection サーバにインストール予定の（あるいはインストール済みの）オプションのサードパーティ製ソフトウェアまたはハードウェアについても、該当するサービス パックをサポートしているかどうかメーカーに確認してください。

サポートされるオーディオ形式

Cisco Unity Connection 1.x での録音では、次のオーディオ形式がサポートされています。

- G.711 A-Law
- G.711 Mu-Law
- G.726
- G.729a
- GSM 6.10

サポートされているすべての形式は、Cisco Unity Connection または Windows Server 2003 のいずれかにより自動的にインストールされます。デフォルトでは、G.711 Mu-Law が有効になっています。

Connection 音声認識機能で使用するには、G.711 Mu-Law オーディオ形式が必要です。

サポートされるモニタリングソフトウェア

次のモニタリングソフトウェアは、シスコによって Cisco Unity Connection 1.x との適合性が確認されています。



注意

Cisco Unity Connection サーバには、モニタリング エージェントのみインストールしてください。アプリケーション全体をインストールすると、Connection は正しく機能しません。

- Hewlett-Packard/Compaq サーバの場合、Hewlett-Packard/Compaq InsightManager バージョン 7.0 以降 (Hewlett-Packard Remote Insight Lights-Out Edition カードとともに使用する場合にサポートされます)
- Hewlett-Packard OpenView 7.20 release for Windows Server 2003 (サポートされているすべての Cisco Unity Connection ハードウェア プラットフォームにおいて、Cisco Unity Connection および SQL Server サービスの IP モニタリングでサポートされています)
- オプションで Remote Server Assistant カードを搭載した IBM サーバ用の IBM Director バージョン 3.1 以降
- Cisco Unity Connection 用の NetIQ VoIP Manager バージョン 6.0 以降 (Connection サーバには、エージェントのみインストールします)

モニタリングソフトウェアについてのサポート ポリシー

シスコのサポート ポリシーは、お客様による Cisco Unity Connection サーバへのサードパーティ製モニタリングソフトウェアの配置を認めています。ただし、シスコでは、お客様 (またはお客様のシステム統合パートナー) がこうした製品を配置する前に、Cisco Unity Connection との相互運用性を十分にテストして、Connection と Connection サーバにロードされたサードパーティ製品との問題が実稼動環境で発見されるリスクを最小限に抑えることを推奨します。



注意

Cisco Unity Connection で適合性が確認されたモニタリングソフトウェア以外のモニタリングソフトウェアをインストールする場合、Connection サーバにはモニタリング エージェントのみインストールしてください。アプリケーション全体をインストールすると、Cisco Unity Connection は正しく機能しません。

問題が発生してお客様が Cisco TAC に連絡した場合、Cisco TAC エンジニアは、トラブルシューティングの過程で、こうしたサードパーティ製ソフトウェアの無効化や Cisco Unity Connection サーバからの削除を求める場合があります。サードパーティ製ソフトウェアと Cisco Unity Connection との相互運用性が問題の直接的な原因であることが判明した場合は、Connection システムの機能性を継続してご利用いただくために、相互運用性の問題が解決するまで、サードパーティ製ソフトウェアの無効化または Cisco Unity Connection サーバからの削除が必要となります。

認定済みの Microsoft サービス パックを Cisco Unity Connection サーバにインストールする場合は、Connection サーバにインストール予定の (あるいはインストール済みの) オプションのサードパーティ製ソフトウェアまたはハードウェアについても、該当するサービス パックをサポートしているかどうかメーカーに確認してください。

バックアップソフトウェアについてのサポート ポリシー

Cisco Unity Connection Disaster Recovery Tool (DiRT) は、Cisco Unity Connection データおよびボイス メッセージのバックアップでサポートされている唯一のアプリケーションです。

Microsoft サービス パックおよびアップデートについてのサポート ポリシー

マイクロソフトは、Cisco Unity Connection およびオプションの音声認識サーバにインストールされている Windows Server 2003 および他のアプリケーションのアップデートを毎月リリースしています。これらのアップデート(セキュリティ ロールアップ パッチ、セキュリティ アップデート、重大アップデート、パッチ、ホット フィックスなど、さまざまな名前で呼ばれる)は、特定の問題を解決する変更に限られています。一般的な障害フィックスや新しい機能は含まれていません。これらすべての Microsoft アップデートは、マイクロソフトによるリリースの日付から、シスコにより適合性が認められています。サーバソフトウェア メンテナンス ポリシーに従って Microsoft アップデートを評価し、Cisco Unity Connection および音声認識サーバをアップデートする適切な時期を判断することをお勧めします。企業でポリシーが設定されていない場合は、Microsoft アップデートがリリースされた時点でサーバに適用することをお勧めします。Cisco TAC は、そのようなアップデートがインストールされている Cisco Unity Connection システムをサポートします。

マイクロソフトは、サービス パックもリリースすることがあります。サービス パックには、アップデートとしてリリースされた大半のフィックスを含む、製品の一般リリース以降に生成されたフィックスが含まれています。サービス パックの範囲は広範なため、各サービス パックを十分にテストして、変更が Cisco Unity Connection に悪影響を与えないことを確認する必要があります。Cisco Unity Connection で適合性が確認されるまで、Cisco TAC では、新しいサービス パックはサポートされません。

適合性が確認されていないサービス パックはインストールしないでください。インストールした場合、アンインストールを実行するまで、Cisco TAC は問題の解決をサポートできません。

該当する Microsoft サービス パックがリリースされてから 60 日以内に、シスコは、そのサービス パックを、リリース済みの Cisco Unity Connection バージョンに適用できるかどうかを発表します。その発表の後には、新しいサービス パックが Cisco Unity Connection の推奨サービス パックになります。

Cisco Unity Connection のメジャー リリースおよびマイナー リリースの推奨サービス パックとして、シスコがサポートする特定の Microsoft コンポーネントのサービス パックは、最大で 2 つです。後続のサービス パックがリリースされると、最も古いサービス パックは、Cisco Unity Connection の次のメジャー リリースまたはマイナー リリースで推奨サービス パックとしてサポートされなくなります。

Cisco Unity Connection との適合性が確認されたサービス パックとして推奨されると、そのサービス パックは、現在サポートされているすべてのバージョンの Cisco Unity Connection でサポートされます。ただし、推奨サービス パックをサポートするため、特定のシスコ製品バージョンが必要であることが明記されている場合を除きます。

サポートされるその他のソフトウェア

次のオプションのソフトウェアは、シスコによって Cisco Unity Connection 1.x との適合性が確認されています。

- Adobe Reader バージョン 4.0 以降
- American Power Conversion NA PowerChute Plus for Windows Server 2003 バージョン 6.0 以降
- RealVNC VNC Server Enterprise Edition for Windows 4.0 以降
- WinZip バージョン 7.0 以降

オプションのソフトウェアについてのサポート ポリシー

シスコのサポート ポリシーは、お客様がバックアップ、モニタリング、およびセキュリティのために Cisco Unity Connection サーバにサードパーティ製ソフトウェアを配置することを認めています。ただし、シスコでは、お客様（またはお客様のシステム統合パートナー）がこうした製品を配置する前に、Cisco Unity Connection との相互運用性を十分にテストして、Connection と Connection サーバにロードされたサードパーティ製品との問題が実稼動環境で発見されるリスクを最小限に抑えることを推奨します。

問題が発生してお客様が Cisco TAC に連絡した場合、Cisco TAC エンジニアは、トラブルシューティングの過程で、こうしたサードパーティ製ソフトウェアの無効化や Cisco Unity Connection サーバからの削除を求める場合があります。サードパーティ製ソフトウェアと Cisco Unity Connection との相互運用性が問題の直接的な原因であることが判明した場合は、Connection システムの機能性を継続してご利用いただくために、相互運用性の問題が解決するまで、サードパーティ製ソフトウェアの無効化または Cisco Unity Connection サーバからの削除が必要となります。

認定済みの Microsoft サービス パックを Cisco Unity Connection サーバにインストールする場合は、Connection サーバにインストール予定の（あるいはインストール済みの）オプションのサードパーティ製ソフトウェアまたはハードウェアについても、該当するサービス パックをサポートしているかどうかメーカーに確認してください。

CCIP、CCSP、Cisco Arrow のロゴ、Cisco Powered Network のマーク、Cisco Unity、Follow Me Browsing、FormShare、および StackWise は、Cisco Systems, Inc. の商標です。Changing the Way We Work, Live, Play, and Learn、および iQuick Study は、Cisco Systems, Inc. のサービスマークです。Aironet、ASIST、BPX、Catalyst、CCDA、CCDP、CCIE、CCNA、CCNP、Cisco、Cisco Certified Internetwork Expert のロゴ、Cisco IOS、Cisco IOS のロゴ、Cisco Press、Cisco Systems、Cisco Systems Capital、Cisco Systems のロゴ、Empowering the Internet Generation、Enterprise/Solver、EtherChannel、EtherFast、EtherSwitch、Fast Step、GigaDrive、GigaStack、HomeLink、Internet Quotient、IOS、IP/TV、iQ Expertise、iQ のロゴ、iQ Net Readiness Scorecard、LightStream、Linksys、MeetingPlace、MGX、Networkers のロゴ、Networking Academy、Network Registrar、Packet、PIX、Post-Routing、Pre-Routing、ProConnect、RateMUX、Registrar、ScriptShare、SlideCast、SMARTnet、StrataView Plus、SwitchProbe、TeleRouter、The Fastest Way to Increase Your Internet Quotient、TransPath、および VCO は、米国および一部の国における Cisco Systems, Inc. とその関連会社の登録商標です。

このマニュアルまたは Web サイトで言及されているその他の商標はすべて、それぞれの所有者のものです。「パートナー」という語の使用は、シスコと他社の提携関係を意味するものではありません。(0403R)

Copyright © 2005 Cisco Systems, Inc.
All rights reserved.

お問い合わせは、購入された各代理店へご連絡ください。

シスコシステムズでは以下のURLで最新の日本語マニュアルを公開しております。
本書とあわせてご利用ください。

Cisco.com 日本語サイト

http://www.cisco.com/japanese/warp/public/3/jp/service/manual_j/

日本語マニュアルの購入を希望される方は、以下のURLからお申し込みいただけます。

シスコシステムズマニュアルセンター

<http://www2.hipri.com/cisco/>

上記の両サイトで、日本語マニュアルの記述内容に関するご意見もお受けいたしますので、
どうぞご利用ください。

なお、技術内容に関するご質問は、製品を購入された各代理店へお問い合わせください。



シスコシステムズ株式会社

URL:<http://www.cisco.com/jp/>

問合せ URL:<http://www.cisco.com/jp/service/contactcenter/>

〒 107-0052 東京都港区赤坂 2-14-27 国際新赤坂ビル東館

TEL.03-5549-6500 FAX.03-5549-6501